神奈川県立平塚ろう学校　令和４年度第２回学校運営協議会　開催報告

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催した。

審議会等名称	神奈川県立平塚ろう学校における第２回学校運営協議会
開催期日	令和４年 10 月 27 日（木）
開催場所	神奈川県立平塚ろう学校　多目的ホール
出席者	神奈川県立平塚ろう学校　学校運営協議会委員６名
次回開催予定日	令和５年２月下旬
問合せ先	平塚ろう学校　　副校長　水上 電　話　　0463-32-0913 ＦＡＸ　　0463-32-1646 電子ﾒｰﾙ　hirarou-sd@pen-kanagawa.ed.jp
議題	（１）　令和４年度学校評価（中間評価）について （２）　切れ目のない支援部会報告について
審議（会議）経過	・学校長あいさつ ・会長あいさつ ・授業見学（小→中→高） ・文化祭オープニング映像視聴 （１）　令和４年度学校評価（中間評価） （２）　切れ目ない支援部会報告 【意見】 ・湘南ベルマーレを中心とした地域事業を始めている。「共生社会を考える」をテーマに、さまざまな企業、団体、社会福祉協議会と協働して進めている。部活動への支援では、例えば地域の小学校へテニススクールのコーチを派遣して、地域と学校をつなげた。工場見学の復活も考えている。利用できるツールを活用してほしい。 ・湘南ジャーナルでは、共生社会のコーナーを毎回持ちたいと考えているので、情報をどんどん学校からも投げてほしい。 ・地域の人材の活用は、どのように地域の方たちと関わっていくかということはもちろん、先生方の働き方改革にもつながると思う。 【質問】 ・湘南ジャーナルはどれくらいの部数発行されているのか。 【回答】 ・毎月２回 10 万部発行しているので、地域の 10 万人の方への情報発信ができると考えてよい。 【質問】 ・以前、平塚に聞こえない子どものための学童、放課後デイサービスのようなものがあった。現在はどうなっているのか。学校に案内は

	きているか。 【回答】 ・コロナ渦になってから、案内はきていない。 【意見】 ・聞こえない子どものための校外での活動はとても大事である。また復活してもらいたいと思う。 ・説明いただいた学校での取組は多岐にわたっていた。地域とのつながりを活用し、社会に出てからもいかせる力をぜひつけてほしい。 【意見】 ・関東聾学校卓球大会を支援させていただいた。ロータリークラブを通して、多くの方にＴシャツを購入してもらった。中郡の卓球大会では、購入したＴシャツを多くの方が着ていたそうだ。ロータリークラブからは、協力したいという声が多く出ている（40 社ほど）。どうコーディネートしていくのか、コーディネート力が重要になってくると思われる。 【意見】 ・公民館にぜひ来てほしい。以前にイベントで和太鼓の演奏をしてもらったが、素晴らしかった。ボランティアの協力をしたい。チラシをいただければ掲示板等で募集できる。 【質問】 ・医療的ケア児通学支援事業について、緊急時対応訓練により手順を確認し、課題の共有ができたとのことだが、どのような課題があったか。 【回答】 ・シミュレーションを行うことで、各々の役割、配置、連絡（１１９番、学校）の際の伝達内容などを確認することができた。対応マニュアルを一元化し、誰でもわかりやすい文章表現にする。 ・事務連絡（第３回学校運営協議会日程について）